【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【公開番号】特開2014-118822(P2014-118822A)
【公開日】平成26年6月30日(2014.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2014-034
【出願番号】特願2012-271924(P2012-271924)
【国際特許分類】
Ｆ０１Ｎ　13/14　(2010.01)
Ｆ０２Ｂ　77/11　(2006.01)
Ｆ１６Ｆ　15/06　(2006.01)
Ｆ１６Ｆ　15/02　(2006.01)
Ｆ０２Ｂ　39/16　(2006.01)
Ｆ０２Ｂ　39/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｎ　13/14
Ｆ０２Ｂ　77/11　Ｄ
Ｆ１６Ｆ　15/06　Ｚ
Ｆ１６Ｆ　15/02　Ｌ
Ｆ０２Ｂ　39/16　Ｇ
Ｆ０２Ｂ　39/00　Ｓ

【手続補正書】
【提出日】平成27年11月24日(2015.11.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
遮熱板に形成した取付孔と、この取付孔を挿通した結合部材と、この取付孔と結合部材との間に設けられた遮熱板用支持装置とを備えた遮熱板の支持構造であって、
この遮熱板用支持装置は、前記結合部材により前記遮熱板を、取付部に緩衝的に支持する為のものであり、金属メッシュ製の緩衝材を有しており、
この緩衝材は、緩衝材側円筒部と、この緩衝材側円筒部の外周面の軸方向両端部に、この外周面から径方向外方に突出した状態で設けられた１対の挟持部とを有し、前記緩衝材側円筒部の外周面と前記取付孔の内周面との間に隙間が存在しない状態、且つ前記両挟持部の対向する軸方向側面同士の間に、前記遮熱板のうちの前記取付孔の周囲に存在する部分を挟持した状態で、前記遮熱板に直接組み付けられており、
前記緩衝材の周面と、この周面と対向する、前記結合部材の周面又はこの緩衝材とこの結合部材との間に配置された別部材の周面との間に隙間を設ける事により、この緩衝材が、前記結合部材又はこの別部材に対して径方向又は軸方向に変位した場合に、この結合部材又はこの別部材と当接可能な状態に配置されている遮熱板の支持構造。